

## 【基本方針】

**RICOH**

### 『労働安全衛生方針』

—安全は全てに優先する—

迫リコー㈱は、情報機器関連メーカーとして、その事業活動全体において「安全は全てに優先する」という考えのもと、当社で働く全ての者が健で、安心して働きやすい職場環境を実現することを優先課題の一つと強く認識し、全員参加で労働安全衛生活動に取り組みます。

1. リコーグループ安全衛生マネジメントシステム（RG-OSHMS）を基本とした労働安全衛生活動に取り組み、労働災害の危険の芽（リスク）を顕在化し、摘み取る活動を継続的に実施します。
2. リコーグループ安全衛生マネジメントシステム（RG-OSHMS）の適切性・妥当性・有効性を維持し、さらにその水準の向上を図るため、定期的に又は必要な都度見直します。
3. 労働安全衛生関連法令・条例・並びに社内で定めた規定類を遵守します。
4. 全従業員協力のもと、無災害の継続と心と体の健康促進活動を展開し、全ての従業員が安全で、安心して働きやすい職場環境の実現を目指します。
5. 全ての従業員に対し、労働安全衛生意識の高揚を図るため、以下の事項を実施します。
  - 1 労働安全衛生方針を周知します。
  - 2 労働安全衛生に必要な教育・訓練を実施します。
  - 3 労働安全衛生活動の重要事項は社内掲示板などにより周知します。

迫リコー㈱

2022年1月1日

代表取締役社長

村上 宏幸

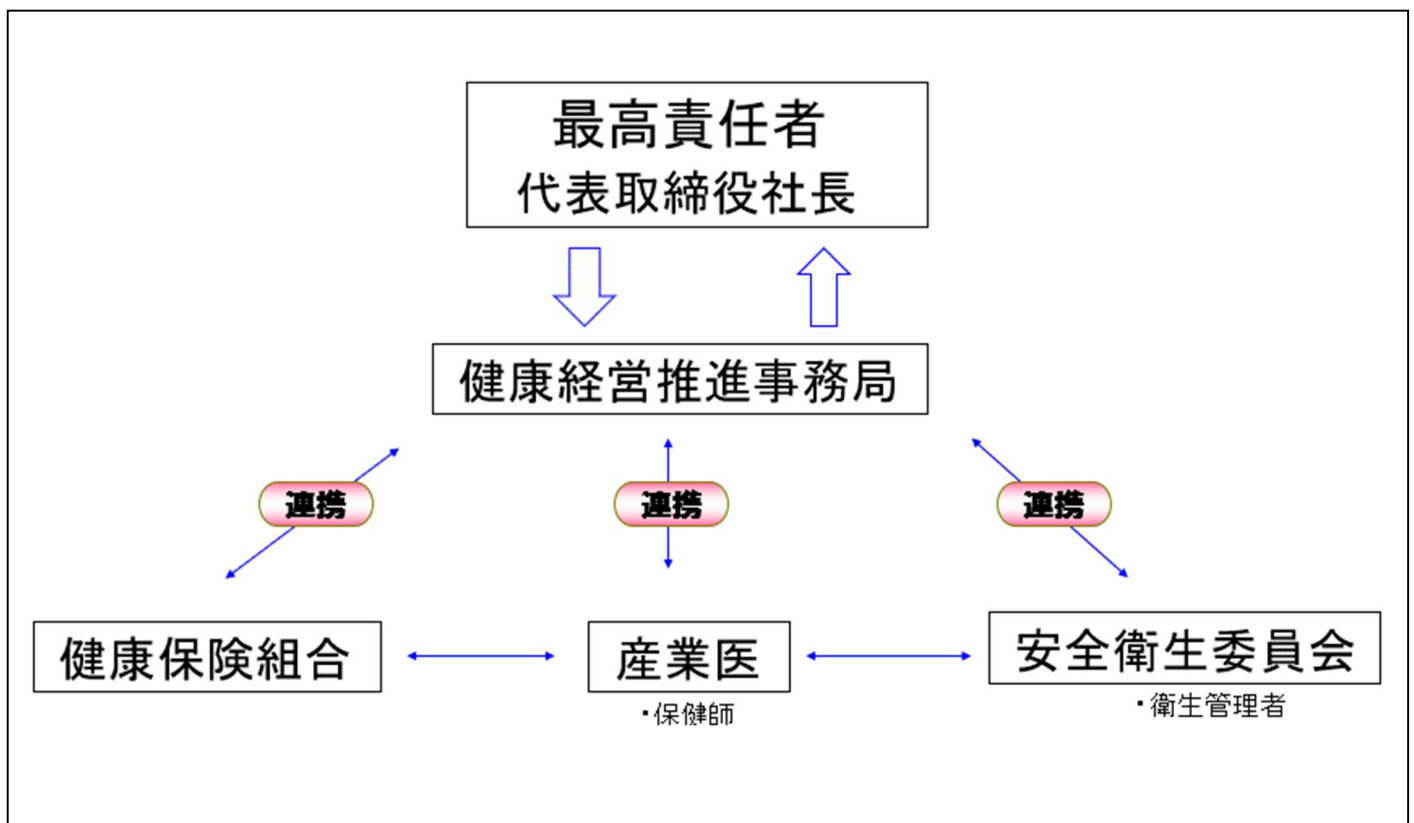
この方針は、社内外に公表します。（定期見直しにより内容が変更される場合もあります）

## 【健康経営宣言】

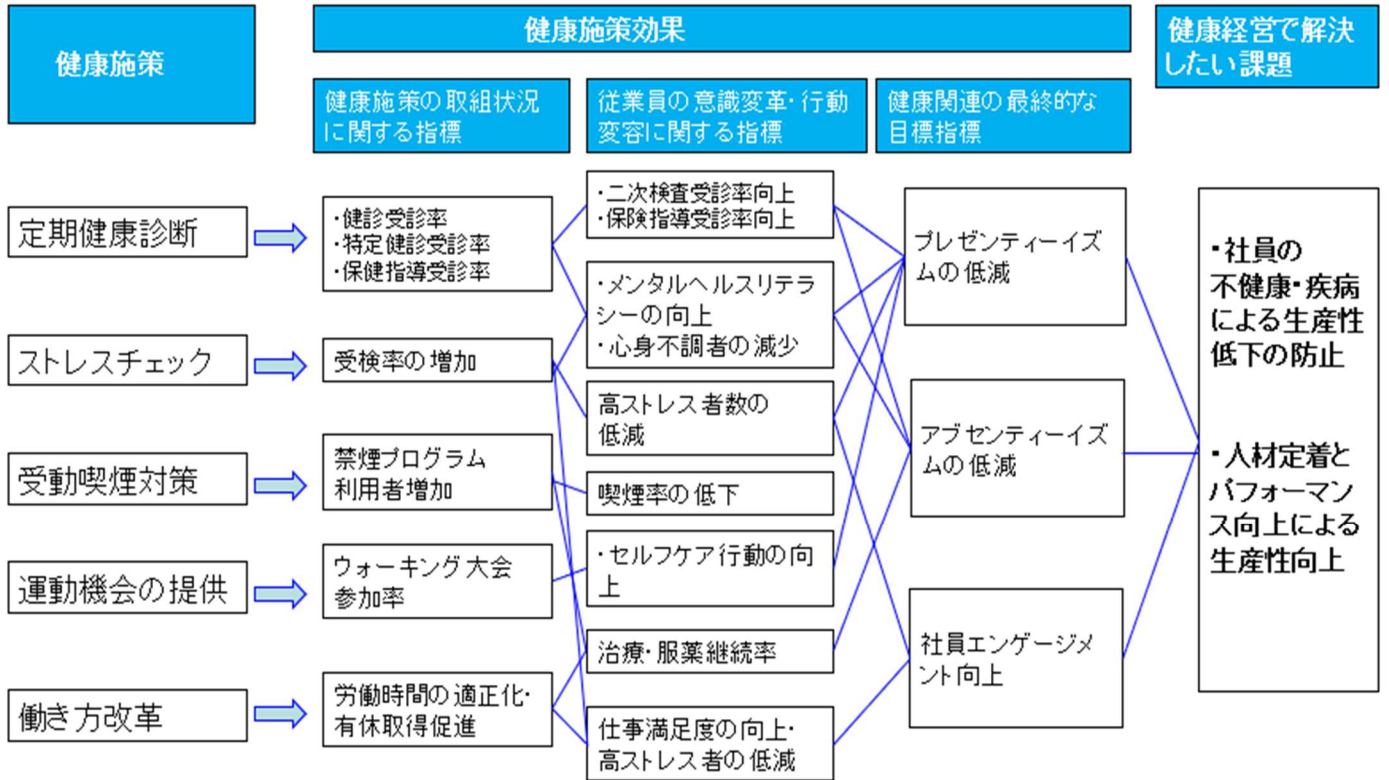
- 社員一人ひとりの心身の健康を大切にし、  
生き生きと働けるよう支援します
- 社員一人ひとりが主体的に健康保持・健康増進に  
取り組めるよう支援します
- 従業員が安全・安心に働ける職場環境づくりに努めます

迫リコー株式会社  
代表取締役社長 村上 宏幸

## 【健康支援活動推進体制】



# 【健康経営戦略マップ】



# 【健康維持増進活動の推進状況】

項目		2023 年度
体の健康	定期健診受診率	100%
	適正体重 (BMI18.5~25 未満)	56.1%
	血圧リスク率 (収縮期 180mmHg 以上または拡張期 110mmHg 以上)	1.1%
	血糖リスク率 (空腹時血糖 200mg/dl 以上)	0.0%
	糖尿病リスク率 (糖尿病管理不良者率:HbA1c8.0%以上)	1.1%
	アブセンティーズム ※1	4 名
	プレゼンティーズム(wFun) ※2	A
心の健康	ストレスチェック受検率	100%
	高ストレス者率	16.2%
エンゲージメント	従業員エンゲージメント (Gallup 社の Q12 で評価) 和	3.51
生活習慣	喫煙率 (現在たばこを習慣的に吸っている)	34.9%
	運動習慣率 (1 週間に 2 回かつ 1 回あたり 30 分の運動を 1 年以上)	14.6%
	飲酒習慣率 (毎日飲酒)	31.72%
労働	社員の平均勤続年数	24 年
	年次有給休暇率	81.9%

※1 アブセンティーズム測定方法…年度内に疾病により休職した者の人数

※2 プレゼンティーズム測定方法…ライフスタイルチェック票の質問票を集計。健康問題による仕事への影響の有無を回答。従業員の割合により A・B・C の 3 段階に判定。A が良好。

リコーグループの基準よりハイリスク者に該当した従業員に対して、産業保健スタッフが二次健診や治療状況をフォローし、治療へつなげております。